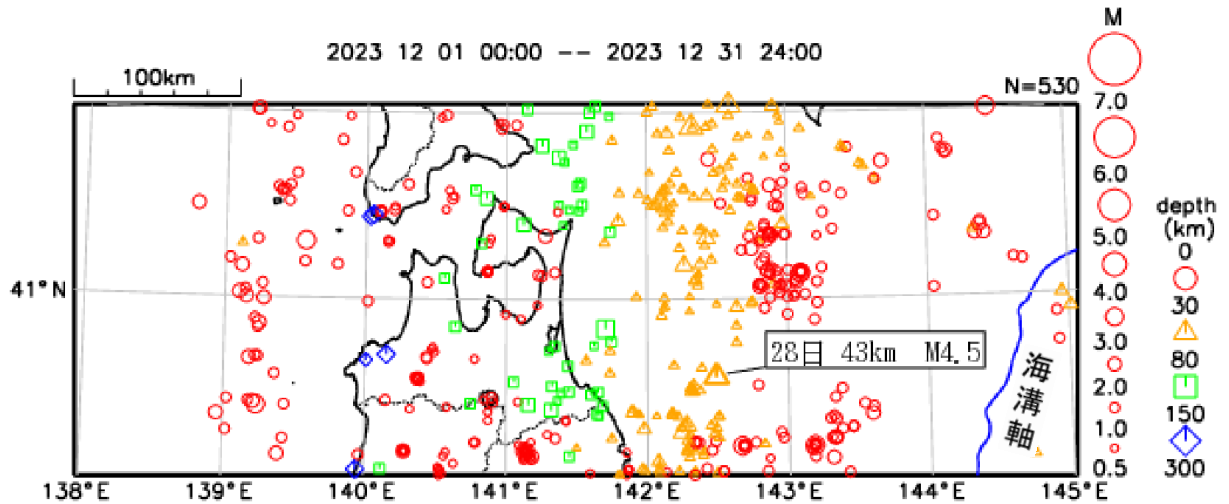


青森県月間地震概況

2023年12月

青森地方気象台

震央分布図



震央：震源（地下の岩盤破壊が最初に始まった点）の真上に向かって地表に投影した点
M（マグニチュード）：地震の規模

吹き出しをつけた地震は概況で取り上げたもの。

【12月の地震概況】

この期間、青森県とその周辺を震源とする地震の回数は530回、県内の震度観測点で震度1以上を観測した地震は12回であった。

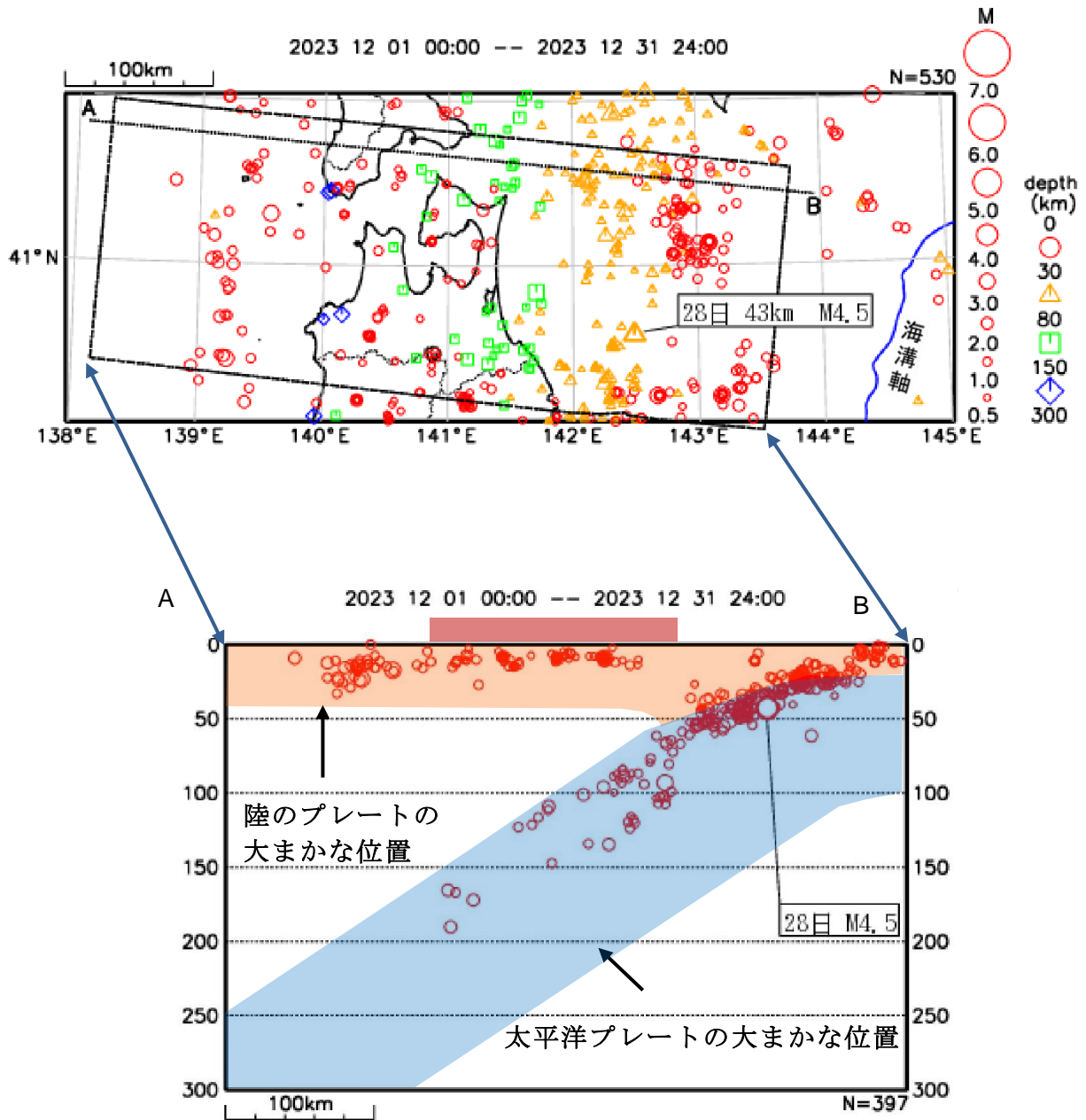
27日07時53分に浦河沖の深さ70km（図の範囲外）でM4.6の地震が発生し、北海道で震度3を観測したほか、北海道、青森県、岩手県で震度2～1を観測した。県内では、東通村で震度2を観測したほか、下北、三八上北及び津軽北部で震度1を観測した。この地震は、太平洋プレートと陸のプレートの境界で発生した。

28日22時16分に青森県東方沖の深さ43kmでM4.5の地震が発生し、青森県と岩手県で震度2を観測したほか、北海道、青森県、岩手県、秋田県、宮城県で震度1を観測した。県内では、八戸市、階上町、野辺地町などで震度2を観測したほか、下北、三八上北及び津軽北部で震度1を観測した。この地震は、太平洋プレートと陸のプレートの境界で発生した。

各地の震度の詳細については「青森県で震度1以上を観測した地震の表」を参照。

地震の震源要素及び震度データは、再調査により変更することがある。

断面図（震央分布図内の破線領域内のA点からB点の断面における震源の深さ）



※太平洋プレート及び陸のプレートの位置は、地震発生状況を考慮して描いた大まかなものである。

※ は陸地の大まかな位置を示している。

※陸地から離れた海域（概ね陸地から200km以遠）ほど、震源の深さに関する精度は良くない。なお、沖合の地震の震源は、実際はより浅いところのものが多いと考えられる。

青森県で震度 1 以上を観測した地震の表

※今後の精査により、震源や震度のデータが追加されることがある。

期間 2023年12月1日～2023年12月31日

発震時	震央地名	北緯	東経	深さ	規模
各地の震度					
2023年12月03日21時40分	青森県下北地方	41° 20.4' N	141° 16.6' E	9km	M2.2
青森県	震度 1 : むつ市金曲 東通村砂子又沢内*				
2023年12月08日23時03分	岩手県沖	40° 19.3' N	142° 16.6' E	44km	M3.7
青森県	震度 1 : 八戸市湊町 八戸市内丸* 八戸市南郷* 三戸町在府小路町* 青森南部町苫米地* 青森南部町平*				
2023年12月12日07時15分	岩手県沖	40° 11.8' N	142° 18.1' E	42km	M3.7
青森県	震度 1 : 青森南部町苫米地*				
2023年12月14日18時37分	青森県東方沖	41° 19.6' N	142° 25.4' E	39km	M3.8
青森県	震度 1 : 青森南部町苫米地*				
2023年12月16日07時39分	青森県東方沖	40° 50.4' N	141° 42.3' E	93km	M3.7
青森県	震度 1 : 八戸市湊町 八戸市内丸* 五戸町倉石中市* 青森南部町苫米地* 階上町道仏* むつ市川内町* 東通村白糠* 東通村砂子又沢内* 佐井村長後*				
2023年12月16日09時15分	岩手県沖	39° 38.0' N	142° 06.2' E	49km	M4.1
青森県	震度 1 : 八戸市内丸* 青森南部町苫米地*				
2023年12月22日10時45分	岩手県沖	39° 58.6' N	142° 21.5' E	14km	M4.9
青森県	震度 1 : 八戸市内丸* 八戸市南郷* 七戸町森ノ上* 六戸町犬落瀬* 東北町上北南* 五戸町古館 青森南部町苫米地* 階上町道仏* おいらせ町中下田*				
2023年12月27日07時53分	浦河沖	41° 55.2' N	142° 19.4' E	70km	M4.6
青森県	震度 2 : 東通村砂子又沢内* 震度 1 : 外ヶ浜町蟹田* 八戸市湊町 八戸市内丸* 八戸市南郷* 三沢市桜町* 七戸町森ノ上* 横浜町林ノ脇* 六ヶ所村尾駸 五戸町古館 五戸町倉石中市* 青森南部町苫米地* 青森南部町平* 階上町道仏* おいらせ町中下田* むつ市金曲 むつ市大畑町中島* むつ市川内町* 東通村砂子又蒲谷地 東通村白糠* 風間浦村易国間*				
2023年12月28日18時15分	択捉島南東沖	44° 36.1' N	149° 09.2' E	30km	M6.6
青森県	震度 1 : つがる市稲垣町* 外ヶ浜町平館* 外ヶ浜町蟹田* 黒石市市ノ町* 藤崎町水木* 平川市猿賀* 八戸市内丸* 八戸市南郷* 七戸町森ノ上* 東北町上北南* 五戸町古館 青森南部町苫米地* 階上町道仏* おいらせ町中下田* むつ市金曲 むつ市大畑町中島* 大間町大間* 東通村砂子又蒲谷地 東通村砂子又沢内*				
2023年12月28日22時16分	青森県東方沖	40° 34.8' N	142° 29.4' E	43km	M4.5
青森県	震度 2 : 八戸市湊町 八戸市内丸* 野辺地町田狭沢* 五戸町古館 青森南部町苫米地* 青森南部町平* 階上町道仏* 震度 1 : 青森市中央* 平内町東田沢* 外ヶ浜町蟹田* 八戸市島守 八戸市南郷* 十和田市西二番町* 十和田市西十二番町* 十和田市奥瀬* 三沢市桜町* 七戸町森ノ上* 七戸町七戸* 六戸町犬落瀬* 横浜町林ノ脇* 横浜町寺下* 東北町上北南* 東北町塔ノ沢山* 六ヶ所村尾駸 三戸町在府小路町* 五戸町倉石中市* 田子町田子* 青森南部町沖田面* おいらせ町中下田* おいらせ町上明堂* むつ市金曲 むつ市大畑町中島* むつ市川内町* 東通村砂子又蒲谷地 東通村白糠* 東通村砂子又沢内* 佐井村長後*				
2023年12月30日15時07分	日高地方西部	42° 48.6' N	142° 31.8' E	35km	M4.1
青森県	震度 1 : むつ市大畑町中島*				

発震時	震央地名	北緯	東経	深さ	規模
各地の震度					
2023年12月31日07時39分	岩手県沖	39° 51.9' N	142° 17.8' E	31km	M4.0
青森県	震度1	：八戸市内丸* 三戸町在府小路町* 五戸町古舘 青森南部町苫米地*			

(注) 地震の震源要素等は、再調査により変更することがある。

各地の震度は青森県のみを示し、*は地方公共団体または国立研究開発法人防災科学技術研究所の観測点である。

本資料は、国立研究開発法人防災科学技術研究所、北海道大学、弘前大学、東北大学、東京大学、名古屋大学、京都大学、高知大学、九州大学、鹿児島大学、国立研究開発法人産業技術総合研究所、国土地理院、国立研究開発法人海洋研究開発機構、公益財団法人地震予知総合研究振興会、青森県、東京都、静岡県、神奈川県温泉地学研究所及び気象庁のデータを用いて作成している。また、2016年熊本地震合同観測グループのオンライン臨時観測点（河原、熊野座）、2022年能登半島における合同地震観測グループによるオンライン臨時観測点（よしが浦温泉、飯田小学校）、米国大学間地震学研究連合（IRIS）の観測点（台北、玉峰、寧安橋、玉里、台東）のデータを用いて作成している。

2023年の青森県とその周辺の地震活動概況

2023年に青森県とその周辺（図1の範囲内）で観測された地震は7,494回（前年7,417回）、青森県内の観測点で震度1以上を観測した地震は106回（前年118回）、震度4以上を観測した地震は5回（前年4回）であった（表1、図2）。観測点ごとの震度別回数は表2のとおりである。

また、2023年は青森県沿岸への大津波警報、津波警報、津波注意報の発表はなかった。

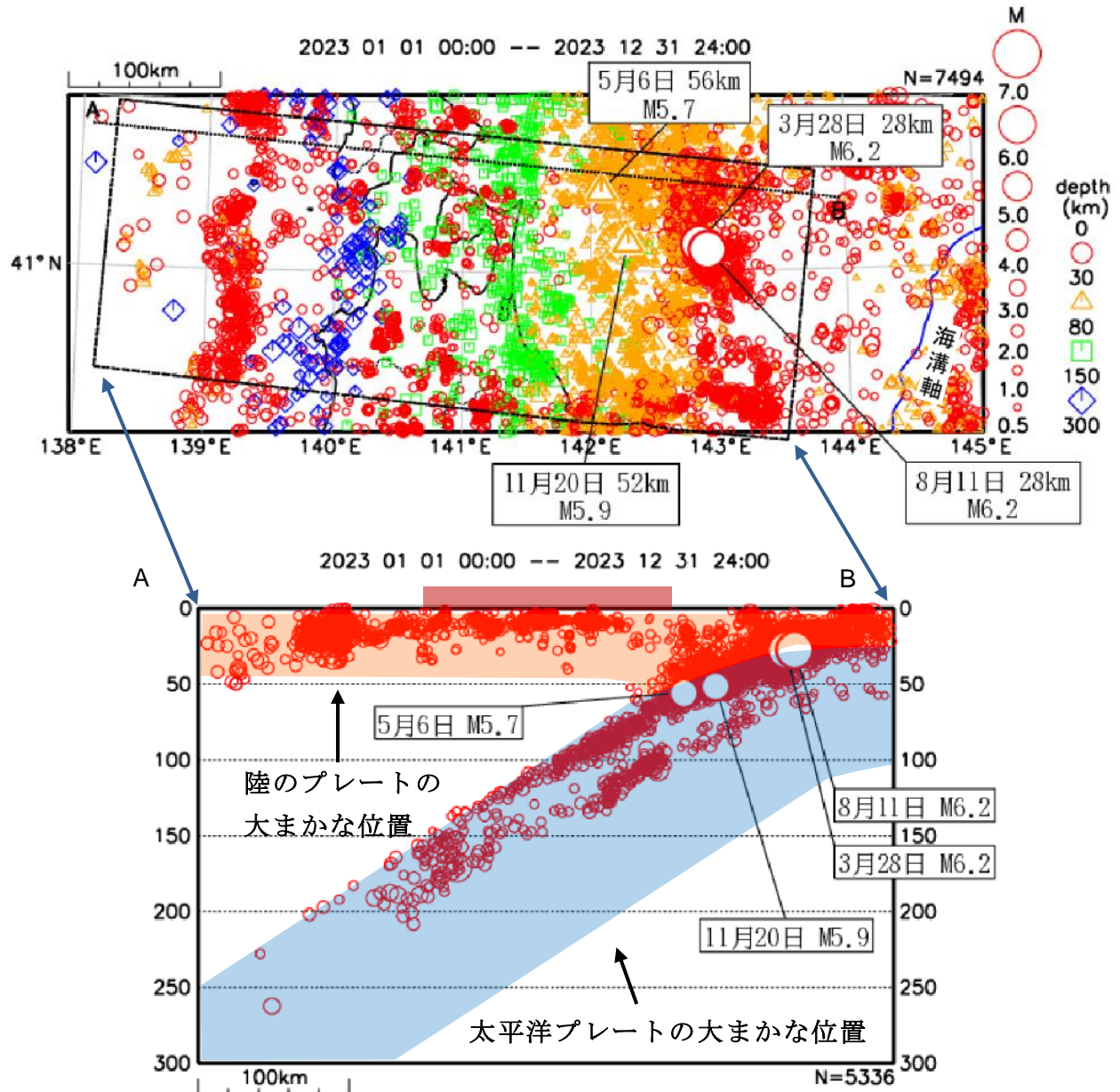


図1 2023年 震央分布図及び断面図

吹き出しをつけた地震は、後述の【2023年の主な地震】で取り上げたものである。

※太平洋プレート及び陸のプレートの位置は、地震発生状況を考慮して描いた大まかなものである。

※ は陸地の大まかな位置を示している。

※陸地から離れた海域（概ね陸地から200km以遠）ほど、震源の深さに関する精度は良くない。

なお、沖合の地震の震源は、実際はより浅いところのことが多いと考えられる。

表 1 2023年に青森県で震度1以上を観測した地震回数表

最大震度	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計
震度1	6	4	6	3	5	4	4	5	5	9	4	10	65
震度2	2	1	3	2	5	5	1	3	2	3	1	2	30
震度3	0	1	0	0	0	2	0	1	1	1	0	0	6
震度4	0	0	1	0	1	1	0	1	0	0	1	0	5
震度5弱	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
震度5強	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
震度6弱	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
震度6強	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
震度7	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
合計	8	6	10	5	11	12	5	10	8	13	6	12	106

注) 今後の精査により、震度データが追加されることがある。

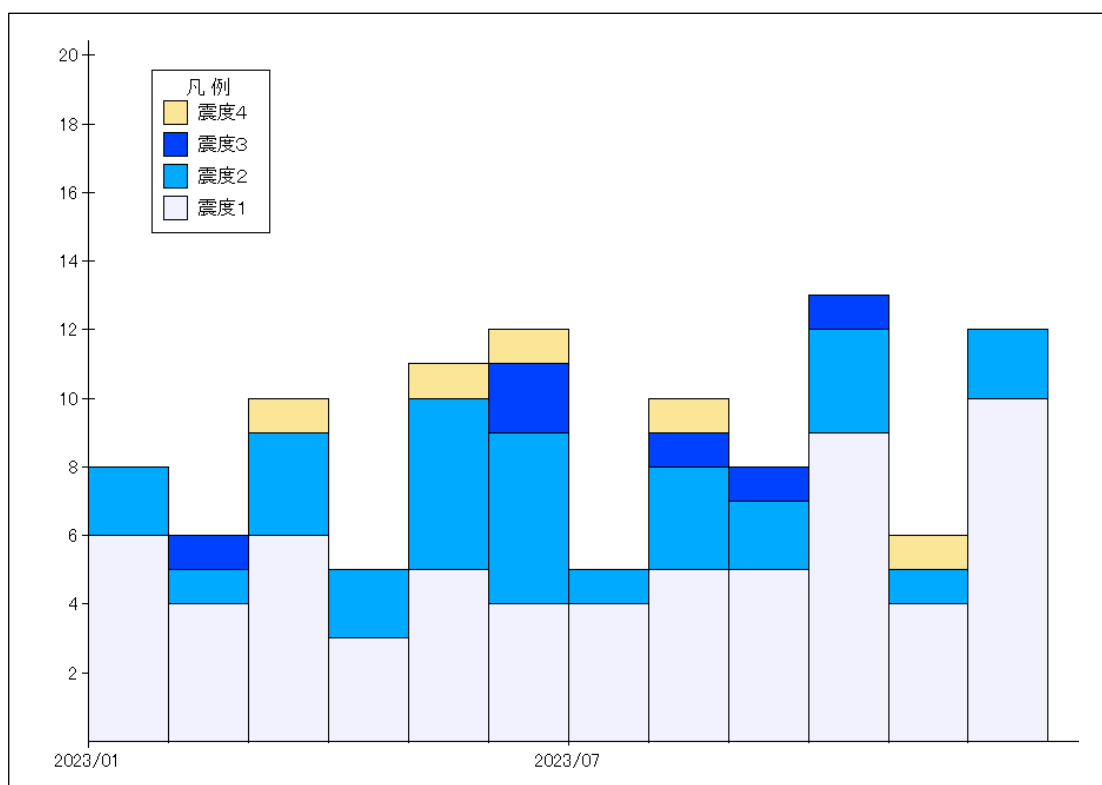


図 2 2023年に青森県で震度1以上を観測した地震の月別回数

表2 2023年の青森県内の観測点別・震度別回数

観測点名	震度1	震度2	震度3	震度4	震度5弱	震度5強	震度6弱	震度6強	震度7	合計
青森市花園	16	4	3	0	0	0	0	0	0	23
青森市中央*	8	4	3	0	0	0	0	0	0	15
青森市浪岡*	8	6	1	0	0	0	0	0	0	15
五所川原市栄町	0	4	2	0	0	0	0	0	0	6
五所川原市太田	3	3	0	0	0	0	0	0	0	6
五所川原市敷島町*	6	3	2	0	0	0	0	0	0	11
五所川原市相内*	4	4	0	0	0	0	0	0	0	8
五所川原市金木町*	5	5	1	0	0	0	0	0	0	11
平内町小湊	3	7	4	2	0	0	0	0	0	16
平内町東田沢*	11	4	3	0	0	0	0	0	0	18
今別町今別*	5	5	0	0	0	0	0	0	0	10
蓬田村蓬田*	9	5	1	0	0	0	0	0	0	15
板柳町板柳*	3	5	1	0	0	0	0	0	0	9
鶴田町鶴田*	5	3	2	0	0	0	0	0	0	10
つがる市柏*	6	3	2	0	0	0	0	0	0	11
つがる市森田町*	2	3	1	0	0	0	0	0	0	6
つがる市稲垣町*	8	4	2	0	0	0	0	0	0	14
つがる市車力町*	5	4	1	0	0	0	0	0	0	10
つがる市木造*	3	3	1	0	0	0	0	0	0	7
外ヶ浜町平館*	5	3	0	0	0	0	0	0	0	8
外ヶ浜町三厩*	4	2	0	0	0	0	0	0	0	6
外ヶ浜町蟹田*	16	4	4	0	0	0	0	0	0	24
中泊町小泊*	4	2	0	0	0	0	0	0	0	6
中泊町中里*	4	4	2	0	0	0	0	0	0	10
弘前市和田町	5	1	0	0	0	0	0	0	0	6
弘前市弥生	4	2	0	0	0	0	0	0	0	6
弘前市城東中央*	2	4	0	0	0	0	0	0	0	6
弘前市賀田*	4	2	0	0	0	0	0	0	0	6
弘前市五所*	4	1	0	0	0	0	0	0	0	5
黒石市市ノ町*	5	4	0	0	0	0	0	0	0	9
鱒ヶ沢町舞戸町鳴戸	3	3	0	0	0	0	0	0	0	6
鱒ヶ沢町舞戸町小夜*	2	3	0	0	0	0	0	0	0	5
深浦町長慶平	4	1	0	0	0	0	0	0	0	5
深浦町深浦岡町	4	2	0	0	0	0	0	0	0	6
深浦町深浦中沢*	2	1	0	0	0	0	0	0	0	3
深浦町岩崎*	3	0	0	0	0	0	0	0	0	3
西目屋村田代*	4	2	0	0	0	0	0	0	0	6
藤崎町西豊田*	6	5	1	0	0	0	0	0	0	12
藤崎町水木*	8	6	1	0	0	0	0	0	0	15
大鰐町大鰐*	4	0	0	0	0	0	0	0	0	4
田舎館村田舎館*	6	4	0	0	0	0	0	0	0	10
平川市猿賀*	7	4	0	0	0	0	0	0	0	11
平川市碓ヶ関*	4	0	0	0	0	0	0	0	0	4
平川市柏木町*	5	3	0	0	0	0	0	0	0	8
八戸市島守	14	5	0	0	0	0	0	0	0	19
八戸市湊町	41	17	4	1	0	0	0	0	0	63
八戸市内丸*	43	15	4	1	0	0	0	0	0	63
八戸市南郷*	38	15	8	1	0	0	0	0	0	62
十和田市西二番町*	15	5	2	0	0	0	0	0	0	22
十和田市西十二番町*	16	6	3	0	0	0	0	0	0	25
十和田市奥瀬*	17	5	1	0	0	0	0	0	0	23

観測点名	震度1	震度2	震度3	震度4	震度5弱	震度5強	震度6弱	震度6強	震度7	合計
三沢市桜町*	24	8	4	0	0	0	0	0	0	36
野辺地町田狭沢*	0	9	4	2	0	0	0	0	0	15
野辺地町野辺地*	4	3	0	1	0	0	0	0	0	8
七戸町北天間館	3	4	0	0	0	0	0	0	0	7
七戸町森ノ上*	23	13	3	2	0	0	0	0	0	41
七戸町七戸*	17	7	3	0	0	0	0	0	0	27
六ヶ所町犬落瀬*	23	7	4	0	0	0	0	0	0	34
横浜町林ノ脇*	23	4	4	0	0	0	0	0	0	31
横浜町寺下*	20	4	3	0	0	0	0	0	0	27
東北町北上北南*	28	9	5	1	0	0	0	0	0	43
東北町塔ノ沢山*	17	6	3	0	0	0	0	0	0	26
六ヶ所村尾駁	22	5	3	0	0	0	0	0	0	30
六ヶ所村出戸	9	4	1	0	0	0	0	0	0	14
三戸町在府小路町*	33	9	3	0	0	0	0	0	0	45
五戸町古館	34	15	4	2	0	0	0	0	0	55
五戸町倉石中市*	26	8	3	2	0	0	0	0	0	39
田子町田子*	15	6	1	0	0	0	0	0	0	22
青森南部町沖田面*	20	5	3	0	0	0	0	0	0	28
青森南部町苔米地*	42	20	5	1	0	0	0	0	0	68
青森南部町平*	23	14	4	1	0	0	0	0	0	42
階上町道仏*	32	22	5	1	0	0	0	0	0	60
新郷村戸来*	5	3	1	0	0	0	0	0	0	9
おいらせ町中下田*	24	10	5	0	0	0	0	0	0	39
おいらせ町上明堂*	22	7	3	0	0	0	0	0	0	32
むつ市金曲	24	6	5	0	0	0	0	0	0	35
むつ市大畑町奥薬研	7	5	0	0	0	0	0	0	0	12
むつ市金谷*	10	5	5	0	0	0	0	0	0	20
むつ市大畑町中島*	23	13	4	1	0	0	0	0	0	41
むつ市川内町*	24	2	4	0	0	0	0	0	0	30
むつ市脇野沢*	10	5	1	0	0	0	0	0	0	16
大間町大間*	6	5	1	0	0	0	0	0	0	12
東通村砂子又蒲谷地	26	7	4	0	0	0	0	0	0	37
東通村尻屋*	11	2	2	0	0	0	0	0	0	15
東通村白糠*	17	6	1	0	0	0	0	0	0	24
東通村砂子又沢内*	36	15	6	2	0	0	0	0	0	59
風間浦村易国間*	9	2	1	0	0	0	0	0	0	12
佐井村長後*	10	3	1	0	0	0	0	0	0	14
佐井村佐井*	3	1	0	0	0	0	0	0	0	4

注1) 今後の精査により、震度データが追加されることがある。

注2) *は地方公共団体または国立研究開発法人防災科学技術研究所の観測点である。

注3) 野辺地町野辺地*は、1月1日から1月26日まで欠測、及び4月27日から欠測中。

注4) 青森県設置の観測点の一部について機器更新に伴う観測停止期間が含まれている。

【2023年の主な地震】

1) 3月28日の青森県東方沖の地震（県内の最大震度4）

3月28日18時18分に青森県東方沖の深さ28kmでM6.2の地震が発生し、北海道、青森県及び岩手県で震度4を観測したほか、北海道、東北地方及び関東地方で震度3～1を観測した。県内では平内町、野辺地町、五戸町、七戸町で震度4を観測するなど、県内の広い範囲で震度4～1を観測した。この地震は、太平洋プレートと陸のプレートの境界で発生した。また、青森県津軽北部で長周期地震動階級1を観測した。

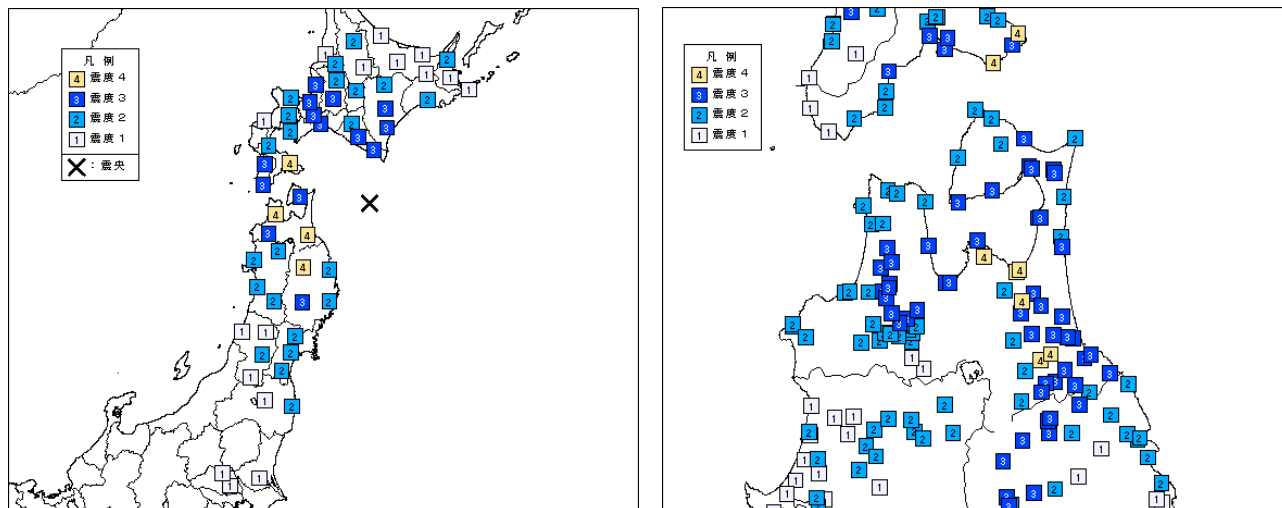


図3 3月28日の青森県東方沖の地震における震度分布図

左図：地域震度^{注1} 右図：地点震度

注1) 国内を約180の地域に分割し、その地域内で観測された地点震度のうち最大の震度を地域震度とする。

2) 5月6日の青森県東方沖の地震（県内の最大震度4）

5月6日02時47分に青森県東方沖の深さ56kmでM5.7の地震が発生し、青森県で震度4を観測したほか、北海道から宮城県にかけて震度3～1を観測した。県内では、東通村で震度4を観測するなど、ほぼ全域で震度4～1を観測した。この地震は、太平洋プレートと陸のプレートの境界で発生した。

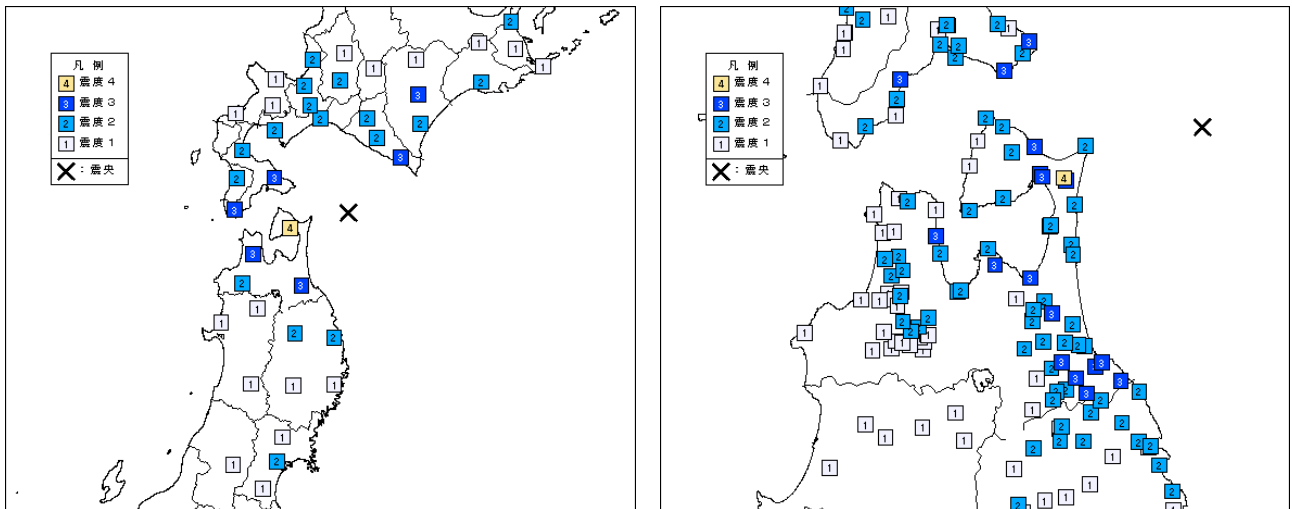


図4 5月6日の青森県東方沖の地震における震度分布図

左図：地域震度 右図：地点震度

3) 6月11日の苫小牧沖の地震（県内の最大震度4）

6月11日18時54分に苫小牧沖の深さ136km（図1の範囲外）でM6.2の地震が発生し、北海道で震度5弱を観測したほか、北海道から中部地方にかけて震度4～1を観測した。県内では、むつ市、階上町、東通村で震度4を観測したほか、広い範囲で震度3～1を観測した。この地震は太平洋プレート内部で発生した。この地震に対して、気象庁は緊急地震速報（警報）を発表した。

※情報発表に用いた震央地名は【浦河沖】である。

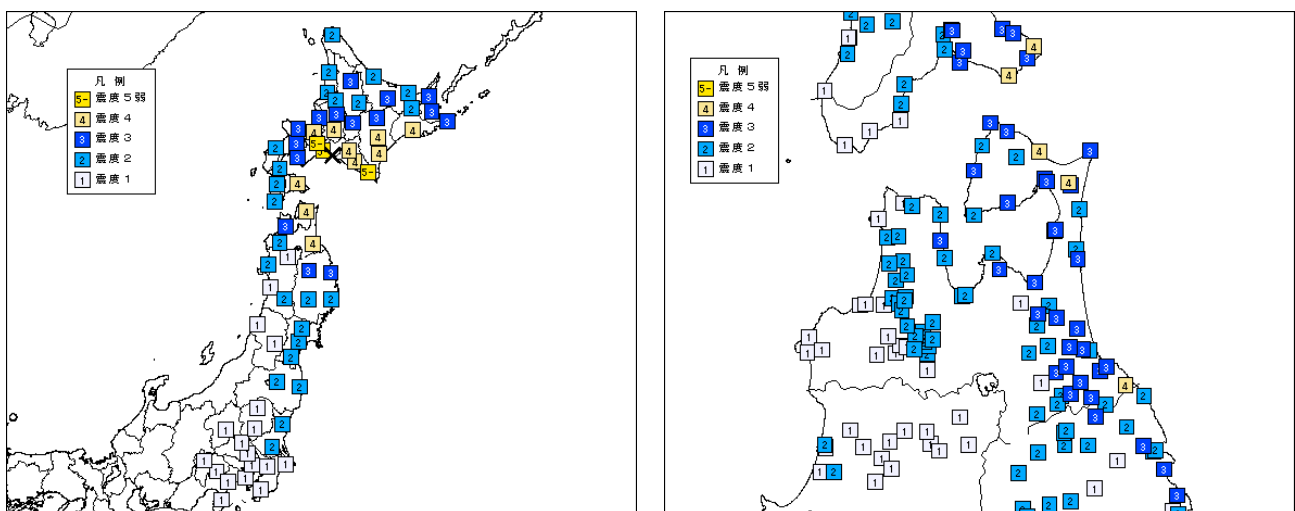


図5 6月11日の苫小牧沖の地震における震度分布図

左図：地域震度 右図：地点震度

4) 8月11日の青森県東方沖の地震(県内の最大震度4)

8月11日09時14分に青森県東方沖の深さ28kmでM6.2の地震が発生し、青森県及び岩手県で震度4を観測したほか、北海道から中部地方にかけて震度3～1を観測した。県内では、八戸市、五戸町、南部町、平内町で震度4を観測したほか、青森県の広い範囲で震度3～1を観測した。この地震は、太平洋プレートと陸のプレートの境界で発生した。また、青森県津軽北部で長周期地震動階級1を観測した。

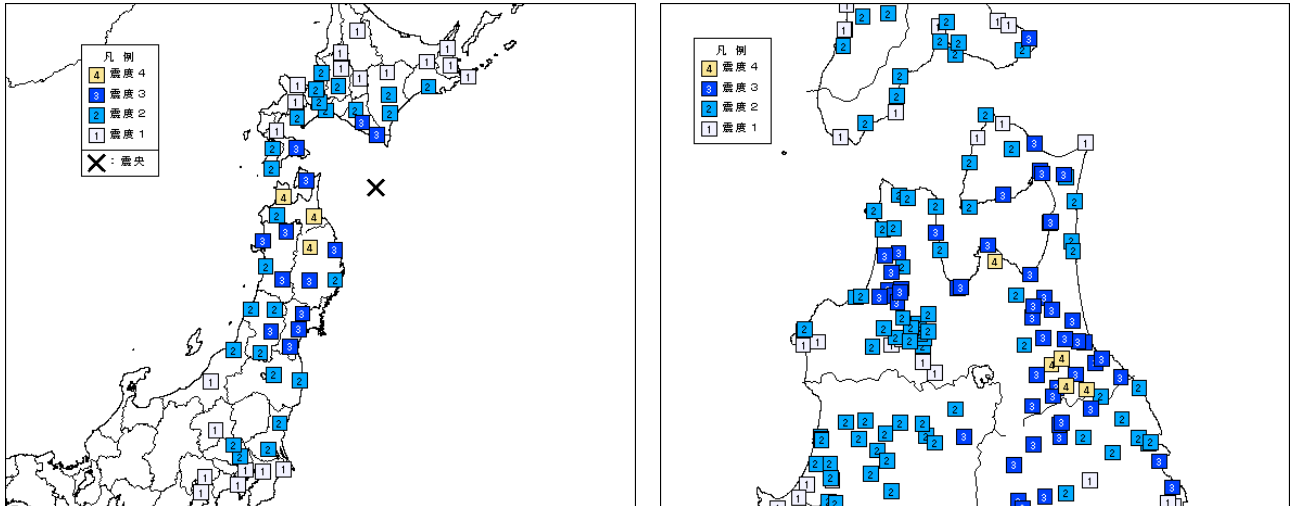


図6 8月11日の青森県東方沖の地震における震度分布図

左図：地域震度 右図：地点震度

5) 11月20日の青森県東方沖の地震(県内の最大震度4)

11月20日06時01分に青森県東方沖の深さ52kmでM5.9の地震が発生し、青森県で震度4を観測したほか、北海道から東北地方にかけて震度3～1を観測した。県内では、八戸市、南部町、野辺地町などで震度4を観測したほか、県内の広い範囲で震度3～1を観測した。この地震は、太平洋プレートと陸のプレートの境界で発生した。

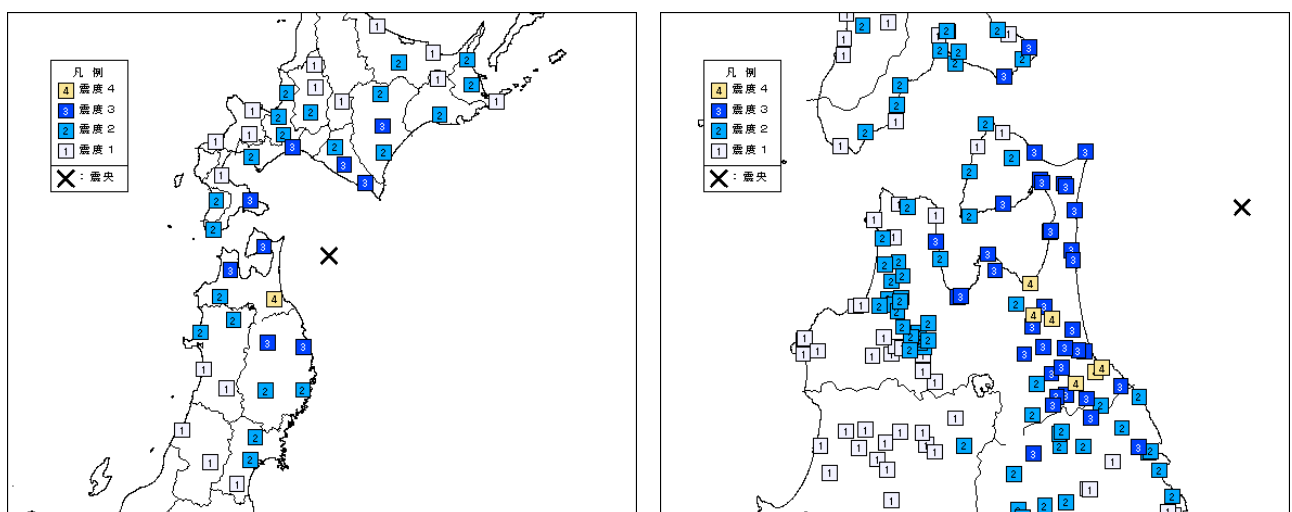


図7 11月20日の青森県東方沖の地震における震度分布図

左図：地域震度 右図：地点震度

青森県周辺で発生する地震

2023年1月1日～12月31日に青森県とその周辺（防災メモ図1の範囲内）で観測された地震数は7,494回でした。これは単純計算で、1日あたり約21回（＝7,494回/365日）※地震が発生していたと考えることができます。

※地震の発生回数の多い日や少ない日など、地震は不定期に発生しているため、上記の計算はあくまで参考程度にお考え下さい。

この1日に数十回程度のペースで発生している地震の内、どれか1回が青森県内で震度5弱以上を観測するような大規模な地震となる可能性はゼロではありません。2024年1月1日16時10分に石川県能登地方で発生したマグニチュード7.6の地震のように、地震などの自然災害は、お正月だろうとお盆だろうと待つてはくれません。この地震大国に住む私たちがすべきことは、1日に数十回発生している地震の内1回が大規模な地震であった場合に備えて、常に強い揺れや津波への対策・避難訓練等を行っていくことです。

では、青森県ではどのような地震に備える必要があるのかを考えてみましょう。青森県周辺で地震が発生する主な地域として、「陸域（内陸で発生する地震）」「日本海側」「太平洋側」の3つがあります。これらの地域で発生する地震の特徴について紹介します。

（1）陸域（内陸で発生する地震）

「内陸で発生する地震」は陸域の浅い場所、主に活断層で発生する地震のことです。過去数十万年以内に繰り返し活動し、今後も活動すると考えられる断層のことを「活断層」と定義しています。活断層で発生する地震は震源が浅く、比較的居住地域に近いところで発生するため、大きな被害を伴うことがあります。また、千年から数万年と地震発生間隔が非常に長いという特徴もあります。

現時点で地震調査研究推進本部により長期評価が行われている青森県内の主要な活断層は、「青森湾西岸断層帯」「津軽山地西縁断層帯」「折爪断層」です。内陸で発生した地震の事例としては平成7年（1995年）兵庫県南部地震などが挙げられ、強い揺れによる建物の倒壊や土砂災害などの被害が考えられます。

なお、見つかってはいるが評価されていない活断層やまだ活断層が見つからない場所で地震が発生することもあります。どこでも地震が発生する可能性があるという意識をもって、家具の固定や防災グッズ等の確認などの日ごろからの備えをしっかりといただくことが重要です。

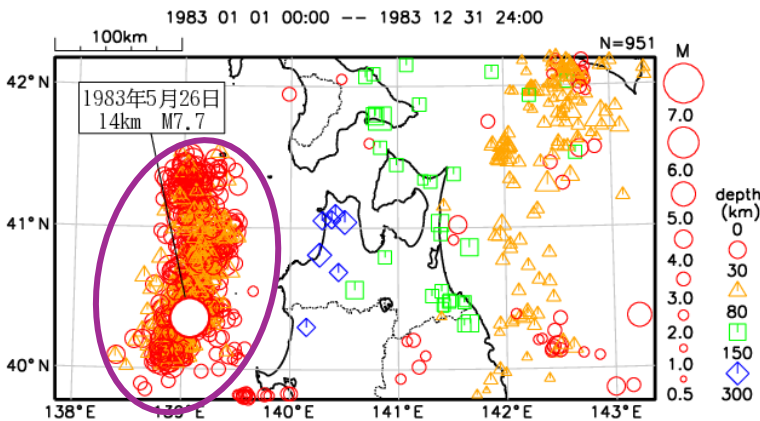


図(1)-1. 青森県とその周辺の主な被害地震

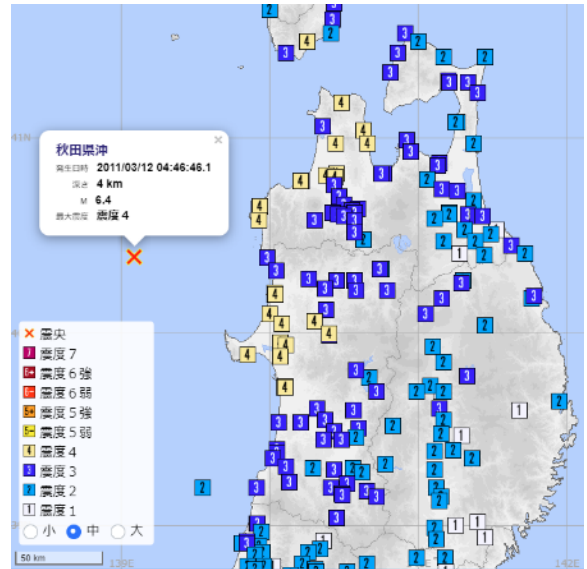
地震調査研究推進本部ホームページ「青森県の地震活動の特徴」(https://www.jishin.go.jp/regional_seismicity/rs_tohoku/p02_aomori/)を加工して作成。

(2) 日本海側

日本海側では、1983年には昭和58年(1983年)日本海中部地震が発生しており(図(2)-1)、その震源域では現在でも地震が発生しています。また、平成23年(2011年)東北地方太平洋沖地震発生後の14時間後(3月12日04:46)には、秋田県沖を震源とするマグニチュード6.4の地震が発生しました(図(2)-2)。日本海側の地震は、震源が比較的陸地に近いこともあり、地震発生から津波の到達までの時間が短いことが特徴です。昭和58年(1983年)日本海中部地震では、早いところで地震発生から8分で第1波が到達しました。気象庁は現在、地震発生から3分を目標に津波警報等を発表していますが、海の近くで揺れを感じたら、気象庁の発表する情報を待たずにいち早く標高の高い場所への避難を心掛けてください。



図(2)-1. 1983年1月～12月の震央分布図。
紫色の円は昭和58年(1983年)日本海中部地震のおおよその震源域を示す。



図(2)-2. 2011年3月12日秋田県沖を震源とするM6.4の地震の震度分布図。

(3) 太平洋側

太平洋側では、東側から沈み込む太平洋プレートと陸のプレートの境界付近での地震が頻繁に発生しています。特に大規模な地震が発生した場合には、津波を発生させ太平洋の沿岸地域に少なからず影響を及ぼします。過去には、平成6年(1994年)三陸はるか沖地震や平成23年(2011年)東北地方太平洋沖地震など津波を伴う大規模地震が発生しています。津波を伴う地震は、強い揺れだけではなく津波にも警戒をしなければなりません。海の近くで揺れを感じたら、いち早く標高の高い場所への避難を心掛けてください。

また、2022年12月16日から「北海道・三陸沖後発地震注意情報」の運用が開始されました。この情報は、日本海溝・千島海溝沿いの領域でM7.0以上の地震が発生した場合に、大規模地震の発生する可能性が平時よりも相対的に高まっていることを呼びかける情報です。

北海道・三陸沖後発地震注意情報のページより
(https://www.data.jma.go.jp/eqev/data/nceq/info_guide.html)

太平洋の海溝沿いで発生する大規模な地震を念頭に、2024年2月4日（日）に、地震・津波に関する講演会を開催します。地震・津波に対する知識や防災対応を知る良い機会ですので、みなさまのご参加をお待ちしております。

【地震本部地域講演会 in 八戸市】地震・津波を知ろう！備えよう！を開催します

2024年2月4日（日）13時30分から、八戸市公民館ホールで【地震本部地域講演会 in 八戸市】地震・津波を知ろう！備えよう！を開催します。日本海溝・千島海溝沿いでは大規模な地震や津波が発生する可能性があります。最新の調査や研究による青森県で発生する地震・津波の特徴や、政府や地域の取組などを知って、自分の住んでいる地域の特性をふまえた災害への備えを考えてみましょう。

○開催概要

1. 開催日時 2024年2月4日（日）
13時30分～16時00分
2. 会場 八戸市公民館ホール
（八戸市内丸一丁目1-1）
3. 主催 地震調査研究推進本部
青森地方気象台
八戸市
4. 後援 青森県
5. 対象 どなたでも参加できます
※手話通訳付
6. 参加人数 500名
7. 参加費 無料

○詳細は以下の案内ページをご覧ください。

<https://www.jishin.go.jp/resource/seminar/240204hachinohe/>

The poster features a large image of a cracked ground surface. Text on the poster includes: '地震本部地域講演会 in 八戸市', '知ろう！備えよう！地震・津波を', 'プログラム', 'これまでの地震本部の活動とその成果', '地震・津波研究の最新情報から', '過去の津波災害から学び未来に備える', '気象庁等が発表する地震・津波の情報', '八戸市における地震と津波対策について', '地域と学校が連携した防災活動', '日時 2024年2月4日(日) 会場 八戸市公民館ホール', '参加費 無料', '定員 先着500名', and a QR code.

参考

◆気象庁HP

「地震発生のしくみ」: https://www.data.jma.go.jp/eqev/data/jishin/about_eq.html

「昭和58年（1983年）日本海中部地震」（秋田地方気象台HP）: https://www.data.jma.go.jp/akita/data/saigai/saigai_tyubu.html

「震度データベース検索」: <https://www.data.jma.go.jp/eqdb/data/shindo/index.html>

「活断層の地震に備える-陸域の浅い地震-」: <https://www.jma.go.jp/jma/kishou/books/katsudansou/index.html>

「北海道・三陸沖後発地震注意情報」について: https://www.data.jma.go.jp/eqev/data/nceq/info_guide.html

◆地震調査研究推進本部HP

「青森県の地震活動の特徴」: https://www.jishin.go.jp/regional_seismicity/rs_tohoku/p02_aomori/

主催・地震調査研究推進本部 青森地方気象台 八戸市 後援：青森県
地震本部 青森地方気象台 八戸市
お問い合わせ先 株式会社アイリス 地震本部地域講演会 in 八戸市 参加申込み受付係
〒03-5395-1203 八戸市公民館ホール 八戸市丸一丁目1-1
TEL: 03-5395-1203 (受付時間: 13時30分～16時30分 土日祝日除く)